積算基準	土木
現場中間検査	不要
工場等派遣中間検査	不要
樹木保険加入	不要

工　事　設　計　書

事　業　年　度	令和 8年度		
設　計　年　月	令和　年　月		
予　算　科　目	款　　項　　目　　節		
工　事　場　所	京都市南区久世築山町他　地内		
路線名又は河川名等			
工　　事　　名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)		
工　　期	契約日の翌日から令和 9年 3月15日まで		
事　業　課（所）名	南部土木みどり事務所	単価使用年月	令和　年　月
工　事　番　号		歩掛適用年月	令和　年　月
変　更　回　数		基準適用年月	令和　年　月
主　　工　　種		単　価　地　区	
前　払　金　支　出		調　整　区　分	

京都市　建設局

チェック欄	

工 事 概 要

工事延長				m	949
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工	m2	1,930	舗装打換え工	m2	465
区画線工	式	1			

施 工 理 由

本件は、一般府道 水垂上桂線及び上鳥羽経72号線において、舗装の経年劣化により、表面剥離・ひび割れが多く発生していることから、車両の安全で快適な通行を確保する目的で舗装補修を行うものである。

			設計額		請負額	
			金額	増減額	金額	増減額
工事費		前回	円	円	円	円
		今回	円		円	
内訳	工事価格	前回	円	円	円	円
		今回	円		円	
	消費税相当額	前回	円	円	円	円
		今回	円		円	
支給品費		前回	円	円	円	円
		今回	円		円	

京都市　建設局

積算参考資料（間接費補正一覧）

単価使用年月	2026年9月	
歩掛適用年月	2026年9月	
基準適用年月	2026年9月	
単価地区	2601：Ⅰ地区	
調整区分	本附帯工事	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	06:舗装工事	
施工地域等補正	大都市（２）	1.5
ＩＣＴ施工補正	補正なし	1.0
週休２日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	大都市（２）	1.2
ＩＣＴ施工補正	補正なし	1.0
週休２日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

設計内訳書（水垂上桂線）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路修繕

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路修繕		式	1				
舗装工		式	1				
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工		式	1				
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ 【夜間】	平均切削深さ:7cmを超え12cm以下,舗設層数:二層,ｱｽﾌｧﾙﾄ材料種類(一層):各種,ｱｽﾌｧﾙﾄ材料種類(二層):各種	m2	1,930				単　1号
舗装版切断 【夜間】	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下	m	67				単　2号(概)
殻運搬(路面切削) 【夜間】	殻種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	135				単　3号(概)
殻処分 【夜間】	殻種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	135				単　4号
区画線工		式	1				
区画線工		式	1				
高視認性区画線 【夜間】	施工方法区分:ﾘﾌﾞ式(溶融式),規格･仕様区分:実線 15cm	m	690				単　5号(概)
溶融式区画線 【夜間】	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	m	30				単　6号(概)
溶融式区画線 【夜間】	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:ｾﾞﾌﾞﾗ45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	m	34				単　7号(概)
溶融式区画線 (ﾀﾞｲﾔﾏｰｸ) 【夜間】	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:矢印･記号･文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	箇所	11				単　8号(概)

京都市

設計内訳書（水垂上桂線）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路修繕

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員 【夜間】	交通誘導警備員B	人日	41				単　9号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の10.9%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
運搬費		式	1				
建設機械運搬費		台	2				単　10号
共通仮設費（率計上）		式	1				

京都市

設計内訳書（水垂上桂線）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路修繕

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

京都市

設計内訳書（上鳥羽経72号線）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路修繕

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路修繕		式	1				
舗装工		式	1				
舗装打換え工		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下	m	27				単　11号(概)
舗装版破砕	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,舗装版厚:9cm	m2	465				単　12号(概)
殻運搬	殻種別:舗装版破砕	m3	42				単　13号(概)
殻処分	殻種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	42				単　14号
不陸整正 補充材有		m2	465				単　15号(概)
基層	材料種類:再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20),舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	m2	465				単　16号(概)
表層	材料種類:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13),舗装厚:40mm,平均幅員:3.0m超	m2	465				単　17号(概)
区画線工		式	1				
区画線工		式	1				
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	m	73				単　18号(概)

京都市

設計内訳書（上鳥羽経72号線）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路修繕

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	9				単　19号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工を除く直工の857.6%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				

京都市

設計内訳書（上鳥羽経72号線）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)	事業区分 工事区分	道路維持･修繕 道路修繕

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

京都市

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　1号	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ 【夜間】	平均切削深さ:7cmを超え12cm以下,舗設層数:二層,ｱｽﾌｧﾙﾄ材料種類(一層):各種,ｱｽﾌｧﾙﾄ材料種類(二層):各種	単位	m2	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ WB430210	7cmを超え12cm以下,二層,30mm,40mm,各種,各種,2.35t/m3,2.35t/m3,ﾀｯｸｺｰﾄ,ﾀｯｸｺｰﾄ	m2	1			単　20号 04-03-01
合計						
単価						円／m2

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　2号	舗装版切断 【夜間】	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断 CB430510	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,全ての費用	m	1			04-03-03
合計						
単価						円／m

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　3号	殻運搬(路面切削) 【夜間】	殻種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬(路面切削) CB430020	有り,6.0km以下,全ての費用	m3	1			04-03-01
合計						
単価						円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　4号	殻処分 【夜間】	殻種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3) WB020051		m3	1			単　21号 01-14-01
合計						
単価						円／m3

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　5号	高視認性区画線 【夜間】	施工方法区分:ﾘﾌﾞ式(溶融式),規格･仕様区分:実線 15cm	単位	m	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
高視認性区画線設置 WB821310	有り,ﾘﾌﾞ式,無し,実線 15cm,無し,無し,649kg/1000m,JIS R 3301 1号のみ,75kg/1000m,25kg/1000m,全ての費用	m	1			単　22号 06-01-02
合計						
単価						円／m

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　6号	溶融式区画線 【夜間】	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 WB821210	有り,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	m	1			単　23号 06-01-01
合計						
単価						円／m

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　7号	溶融式区画線 【夜間】	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:ｾﾞﾌﾞﾗ45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 WB821210	有り,溶融式手動,無し,ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	m	1			単　24号 06-01-01
合計						
単価						円／m

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　8号	溶融式区画線 (ﾀﾞｲﾔﾏｰｸ) 【夜間】	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:矢印･記号･文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	単位	箇所	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 WB821210	有り,溶融式手動,無し,矢印･記号･文字 15cm換算,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	m	16.51			単　25号 06-01-01
合計						
単価						円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　9号	交通誘導警備員 【夜間】	交通誘導警備員B	単位	人日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B WB010212		人日	1			単　26号 02-05-20
合計						
単価						円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　10号	建設機械運搬費		単位	台	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車による運搬(1車1回) WB010010	路面切削機(ﾎｲｰﾙ廃材積込付)2.0m,9.8km,無,無	台	1			単　27号 01-02-02
合計						
単価						円／台

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　11号	舗装版切断	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断 CB430510	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,全ての費用	m	1			04-03-03
合計						
単価						円／m

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　12号	舗装版破砕	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,舗装版厚:9cm	単位	m2	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破砕 CB430310	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,無し,必要,15cm以下,有り,全ての費用	m2	1			04-03-02
合計						
単価						円／m2

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　13号	殻運搬	殻種別:舗装版破砕	単位	m3	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬 CB227010	舗装版破砕,機械(対策不要厚15cm超)又は必要,有り,5.5km以下,全ての費用	m3	1			02-02-25
合計						
単価						円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　14号	殻処分	殻種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3) WB020051		m3	1			単　28号 01-14-01
合計						
単価						円／m3

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　15号	不陸整正 補充材有		単位	m2	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸整正 CB410010	有り,28mm以上34mm未満,再生粒度調整砕石 RM-30,全ての費用	m2	1			04-01-01
合計						
単価						円／m2

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　16号	基層	材料種類:再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20),舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
基層(車道･路肩部) CB410240	3.0m超,50mm,再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,全ての費用	m2	1			04-01-02
合計						
単価						円／m2

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　17号	表層	材料種類:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13),舗装厚:40mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
表層(車道･路肩部) CB410260	3.0m超,40mm,再生密粒度ｱｽｺﾝ(13),ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4,全ての費用	m2	1			04-01-02
合計						
単価						円／m2

１次単価表(概)

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　18号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格･仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 WB821210	無し,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	m	1			単　29号 06-01-01
合計						
単価						円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　19号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B WB010212		人日	1			単　30号 02-05-20
合計						
単価						円／人日

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　20号 WB430210	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	7cmを超え12cm以下,二層,30mm,40mm,各種,各種,2.35t/m3,2.35t/m3,ﾀｯｸｺｰﾄ,ﾀｯｸｺｰﾄ	単位	m2	単位数量	100	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役 R0125		人	0.199			[ ][1　]
特殊作業員 R0101		人	0.596			[ ][1　]
普通作業員 R0102		人	0.994			[ ][1　]
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度アスファルト混合物(13)【夜間】 Y001102000004		t	7.544			
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生粗粒度アスファルト混合物(20)【夜間】 Y001102000003		t	10.058			
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-4 ﾀｯｸｺｰﾄ用 Z004130003		L	43			
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-4 ﾀｯｸｺｰﾄ用 Z004130003		L	43			
路面切削機運転 WK430050	7cmを超え12cm以下,二層	日	0.199			単　31号 04-03-01　[ ][1　]
路面清掃車運転 WK430060	7cmを超え12cm以下,二層	日	0.199			単　32号 04-03-01　[ ][1　]
ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ運転 WK430070	7cmを超え12cm以下,二層	日	0.199			単　33号 04-03-01　[ ][1　]
ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ運転 WK430080	7cmを超え12cm以下,二層	日	0.199			単　34号 04-03-01　[ ][1　]
ﾀｲﾔﾛｰﾗ運転 WK430090	7cmを超え12cm以下,二層	日	0.199			単　35号 04-03-01　[ ][1　]

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　20号 WB430210	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	7cmを超え12cm以下,二層,30mm,40mm,各種,各種,2.35t/m3,2.35t/m3,ﾀｯｸｺｰﾄ,ﾀｯｸｺｰﾄ	単位	m2	単位数量	100	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004	14%	式	1			[1][　　]
合計						
単価						円／m2

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　21号 WB020051	処分費(m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 As殻　(切削) Y007600000003		m3	100			
合計						
単価						円／m3

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　22号 WB821310	高視認性区画線設置	有り,ﾘﾌﾞ式,無し,実線 15cm,無し,無し,649kg/1000m,JIS R 3301 1号のみ,75kg/1000m,25kg/1000m,全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
高視認性区画線設置 ﾘﾌﾞ式(溶融式) 夜間 豪雪無 実線15cm 制約無 単価補正1.000(FP3)　Q001055019		m	1,000			[ ][2]
塗料 高輝度路面標示用塗料(ﾚｲﾝﾌﾗｯｼｭﾗｲﾝｽｰﾊﾟｰ) Y000500000001		kg	649			[ ][1]
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ 0.106～0.850mm Z004352001		kg	75			[ ][1]
ﾌﾟﾗｲﾏｰ 高輝度路面標示塗料接着用 Y000519000001		kg	25			[ ][1]
軽油 Z006702002		L	59			[ ][1]
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ Z006704001		L	2.8			[ ][1]
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004	2%	式	1			[1][ ]
合計						
単価						円／m

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　23号 WB821210	区画線設置	有り,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置(溶融式) 夜間 豪雪無 実線15cm 制約無 単価補正1.000(FP3)　Q001036079		m	1,000			[ ][2]
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型 3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白 Z004350001		kg	570			[ ][1]
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ 0.106～0.850mm Z004352001		kg	25			[ ][1]
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ 区画線用 Z004354001		kg	25			[ ][1]
軽油 Z006702002		L	47			[ ][1]
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004	5%	式	1			[1][ ]
合計						
単価						円／m

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　24号 WB821210	区画線設置	有り,溶融式手動,無し,ｾﾞﾌﾞﾗ 45cm,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置(溶融式) 夜間 豪雪無 ｾﾞﾌﾞﾗ45cm 制約無 単価補正1.000(FP3)　Q001036136		m	1,000			[ ][2　]
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型 3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白 Z004350001		kg	1,700			[ ][1　]
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ 0.106～0.850mm Z004352001		kg	75			[ ][1　]
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ 区画線用 Z004354001		kg	75			[ ][1　]
軽油 Z006702002		L	106			[ ][1　]
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004	5%	式	1			[1][　]
合計						
単価						円／m

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　25号 WB821210	区画線設置	有り,溶融式手動,無し,矢印･記号･文字 15cm換算,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置(溶融式) 夜間 豪雪無 矢印･記号･文字 制約無 単価補正1.000(FP3)　Q001036151		m	1,200			[ ][2]
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型 3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白 Z004350001		kg	684			[ ][1]
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ 0.106～0.850mm Z004352001		kg	30			[ ][1]
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ 区画線用 Z004354001		kg	30			[ ][1]
軽油 Z006702002		L	139.2			[ ][1]
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004	5%	式	1			[1][ ]
合計						
単価						円／m

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　26号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B R0804		人	1			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／人日

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　27号 WB010010	貨物自動車による運搬(1車1回)	路面切削機(ﾎｲｰﾙ廃材積込付)2.0m,9.8km,無,無	単位	台	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車基本運賃 20t車以上30t車まで 20kmまで Z006811001		台	1			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／台

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　28号 WB020051	処分費(m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 As殻　(掘削) Y007600000002		m3	100			
合計						
単価						円／m3

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　29号 WB821210	区画線設置	無し,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15～18%,白,ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装,全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無 単価補正1.000(FP3)　Q001036001		m	1,000			[ ][2　]
ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ 溶融型 3種1号 ﾋﾞｰｽﾞ15～18 白 Z004350001		kg	570			[ ][1　]
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ 0.106～0.850mm Z004352001		kg	25			[ ][1　]
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ 区画線用 Z004354001		kg	25			[ ][1　]
軽油 Z006702002		L	47			[ ][1　]
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004	5%	式	1			[1][　]
合計						
単価						円／m

２次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.000-00000　0.0　0

単　30号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B R0804		人	1			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／人日

３次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　31号 WK430050	路面切削機運転	7cmを超え12cm以下,二層	単位	日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊) R0114		人	1			
軽油 Z006702002		L	207			
路面切削機[ﾎｲｰﾙ式･廃材積込装置付] 排出ｶﾞｽ対策(第3次)切削幅×深さ2.0×0.23m M001131014	機械条件:供用　持込	供用日	1.28			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／日

３次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　32号 WK430060	路面清掃車運転	7cmを超え12cm以下,二層	単位	日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(一般) R0115		人	1			
軽油 Z006702002		L	38			
路面清掃車[ﾌﾞﾗｼ･四輪式･路面切削工事用] ﾎｯﾊﾟ収集容量1.5m3 M001101020	機械条件:供用　持込	供用日	1.15			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／日

３次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　33号 WK430070	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ運転	7cmを超え12cm以下,二層	単位	日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊) R0114		人	1			
軽油 Z006702002		L	65			
ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ[ﾎｲｰﾙ型] 排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制)舗装幅2.3～6.0m M001003045	機械条件:供用　持込	供用日	1.41			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／日

３次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　34号 WK430080	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ運転	7cmを超え12cm以下,二層	単位	日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊) R0114		人	1			
軽油 Z006702002		L	32			
ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[ﾏｶﾀﾞﾑ・排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制)] 運転質量10t M000810002	機械条件:供用　持込	供用日	1.28			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／日

京都市

３次単価表

単価使用年月	2026.09
歩掛適用年月	2026.09
労務調整係数	1.500-00001　0.0　0

単　35号 WK430090	ﾀｲﾔﾛｰﾗ運転	7cmを超え12cm以下,二層	単位	日	単位数量	1	単価	

名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊) R0114		人	1			
軽油 Z006702002		L	25			
ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型･排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制)] 運転質量13～14t M000820006	機械条件:供用　持込	供用日	1.41			
諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
合計						
単価						円／日

特　記　仕　様　書（個別工事編）

工 事 名　舗装道補修工事（水垂上桂線他）
工事場所　京都市南区久世築山町他　地内

1　一般事項

第１条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和８年８月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和８年８月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※　京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照
請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）
(https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html)

第２条（中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更）

1　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下「調達検討資材」）の調達に必要となる経費（以下「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。

2　調達検討資材は下表を想定している。これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

表－調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月	単価適用地区
高視認性区画線(塗料)	設計内訳書参照		令和８年９月	Ⅰ地区
溶融式区画線（塗料）				

3　受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。
なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。
①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）

4　受注者は、別途調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

第３条（受注者希望方式による「完全週休２日（土日）」の実施）

１　本工事は「京都市建設局週休２日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休 ２ 日（土日）」）であり、「京都市建設局週休２日工事実施要領」（https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html）に基づいて実施する。ただし、「月単位の週休２日」は必須である。

２　受注者は、契約後すみやかに、「完全週休２日（土日）」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休２日（土日）」又は「月単位の週休２日」の実施内容を反映させること。

３　「完全週休２日（土日）」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

４　「月単位の週休２日」が未達成のもので、明らかに受注者側に「月単位の週休２日」に取り組む姿勢が見られなかった場合については、必要に応じ、工事成績評定点を減ずる措置を行う場合がある。

５　受注者は、本市が週休２日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休２日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。

６　工事標示板に「京都市建設局週休２日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第４条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

１　本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」（https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html）に基づいて実施する。

２　受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。

３　建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第５条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

⑴　休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。

⑵　休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。

⑶　勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。

⑷　昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。

⑸　作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）

⑹　打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第６条（前払金）

前払金は、請負代金の４０％以内とし、中間前払金は、同様に２０％以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※　京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf）

２　現場条件に関する事項

第７条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

本工事の施工に当たっては、工事着手前に施工箇所の測量を実施し、施工数量に測量結果の反映を行うこと。なお、測量の結果、設計図書の内容に変更が生じる場合は、監督職員と協議を行うものとし、設計変更の対象とする。

第８条（施工時間）

【水垂上桂線】

施工は夜間とし、標準的な作業時間帯は、２１時～６時とする。ただし、所轄警察署等と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

【上鳥羽経 72 号線他】

施工は昼間とし、標準的な作業時間帯は、８時３０分～１７時３０分とする。ただし、所轄警察署等と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第９条（工事規制）

１　本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第１７条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html

(1) 年末年始規制

規制種別	規制路線及び地域	規制期間	規制内容
年末年始規制	その他道路	１２月２７日～１月５日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は工事区域を拡大してはならない。ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放するための工事はこの限りでない。

第１０条（支障物件等）

本工事区間内の支障物件は下表のとおりである。受注者は管理者との連絡を十分行うこと。また、

移設時期等を延期するような場合は設計変更の対象とする。

【水垂上桂線】

支障物件	管理者	位置	企業者との協議	移設期間	工事方法	立会
河川管理用光ケーブル	淀川河川事務所	№11+14.3～No.49+5.9	未	―	離隔確保	要

【上鳥羽経72号線他】

支障物件	管理者	位置	企業者との協議	移設期間	工事方法	立会
下水人孔	上下水道局	各所	未	別途調整	高さ調整	要
ガス人孔	大阪ガス	各所	未	別途調整	高さ調整	要

第１１条（交通誘導警備員）

１　交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

【水垂上桂線】

配 置 場 所	交通誘導警備員（1日当たりの編成人数）	編　　成	昼間・夜間・24時間の別	交替要員の有無
施工箇所前後等	５～６名（交代要員１名含む。）	交通誘導警備員Ｂ ４～５ 名	夜　間	有

【上鳥羽経 72 号線他】

配 置 場 所	交通誘導警備員（1日当たりの編成人数）	編　　成	昼間・夜間・24時間の別	交替要員の有無
施工箇所前後等	３ 名（交代要員１名含む。）	交通誘導警備員Ｂ ２ 名	昼　間	有

２　上表において交替要員を有としている配置場所については、作業中は交通誘導警備員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

3　監督職員の確認に関する事項

第１２条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等)、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材 料･製 品	備　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ合材	「品質管理基準及び規格値」 （区分・項目・方法・頻度）

第１３条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第１４条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（３－１－１－４）の「表３－１－１段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）
（「共通仕様書（３－１－１－４）の「表３－１－１段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外」

工種-種別等	細　別	確　　認　　項　　目
切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ工	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ	切削完了時の状況
舗装打換え工	不陸整正	不陸整正完了時の状況

第１５条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験の項目や規格値等については、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載しているが、次表の工種、品目･規格等、試験項目における具体的な試験時期・頻度は、同表に記載のとおりとする。

工種	品目･規格等	試験項目	試験時期・頻度	備　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	再生密粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13) t=30,40mm	現場密度試験	3 箇所	100m2 以上
〃	再生粗粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20) t=40,50mm	現場密度試験	3 箇所	100m2 以上

4　建設副産物に関する事項

第１６条（建設副産物の適正処理）

1　建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正令和７年３月 27 日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるＡ、Ｂ２、Ｄ、Ｅ票については、その原本を監督職員へ提示すること。

＜産業廃棄物＞

建設副産物	受入場所	備　　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊 （切削）【夜間】	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第６項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路千両松町７８番地	設計運搬距離 Ｌ＝５.９km
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊 （掘削）【昼間】	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 14 条第６項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路千両松町７８番地	設計運搬距離 Ｌ＝５.１km

2　舗装切断時等において発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時等において発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

第１７条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

⑴　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和７年６月１日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「６　解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工　　程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他(　　)	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※　特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

⑵　受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づき、以下の事項を別に定める１８条様式に記載し、監督職員に報告すること。

・再資源化等が完了した年月日

・再資源化等をした施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、１８条に基づく報告を省略することができるものとする。

5　その他事項

第１８条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の２８日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の１４日前までに提出すること。

第１９条（受注者希望型におけるＩＣＴ活用工事の試行）

1　本工事は、「京都市建設局ＩＣＴ活用工事試行方針（案）」（令和８年８月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ＩＣＴ活用工事試行要領（案）」（令和８年８月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いＩＣＴ活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照
(https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html)

2　試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ＩＣＴ活用工事を試行できる。

3　受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はＩＣＴ活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ＩＣＴ施工技術を活用できる。

なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む３つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議により選定できる。

① ３次元起工測量
② ３次元設計データ作成
③ ＩＣＴ建設機械による施工
④ ３次元出来形管理等の施工管理
⑤ ３次元データの納品

4　ＩＣＴ活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更で必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要となる見積書を提出すること。

5　「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①３次元起工測量の１プロセスのみの活用は除く。

第２０条（情報共有システムの利用）

1　本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。

システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン　（令和８年８月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。

2　利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。

3　システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。

4　システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要

領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。
なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。
※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照
(https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html)

第２１条（受注者希望型における遠隔臨場の実施）
本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。
１　目的
本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和５年３月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和５年３月）の内容に従い実施するものとする。
２　実施内容
（１）　「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施
ア　受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。
イ　遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。
なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。
（２）　効果の検証
遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。
（３）　費用
遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和５年３月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。
なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。
（４）　成績評定
遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、１点の加点とする。

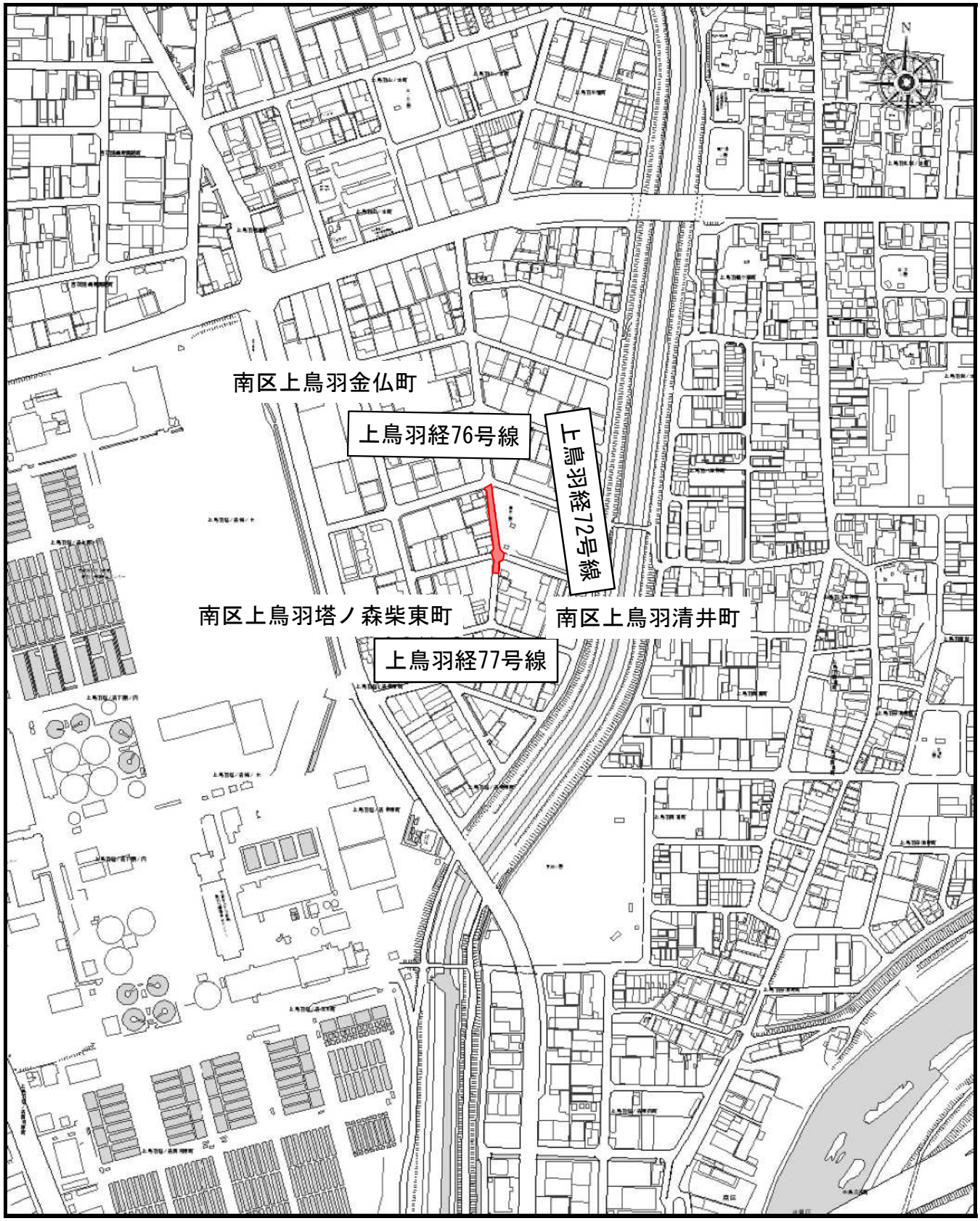
箇所図



1 / 5000

：工事施工箇所

箇所図



1 / 5000

：工事施工箇所